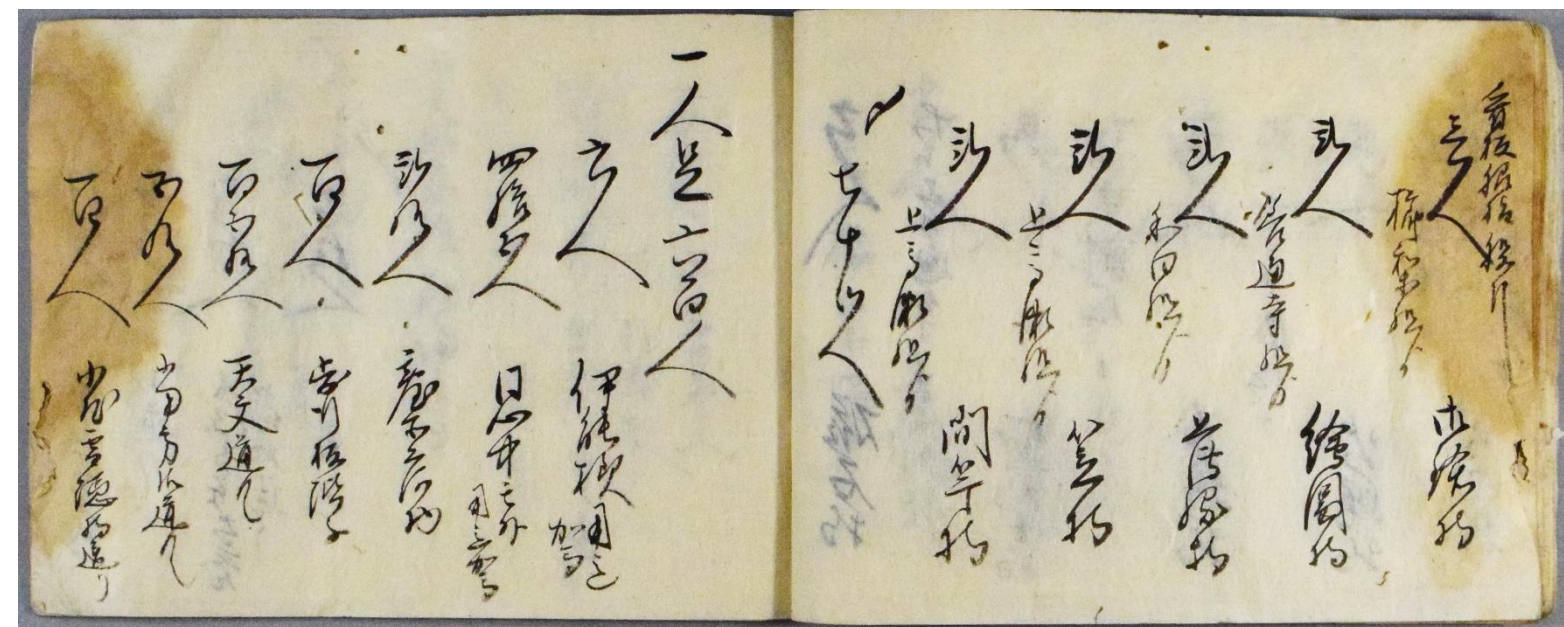
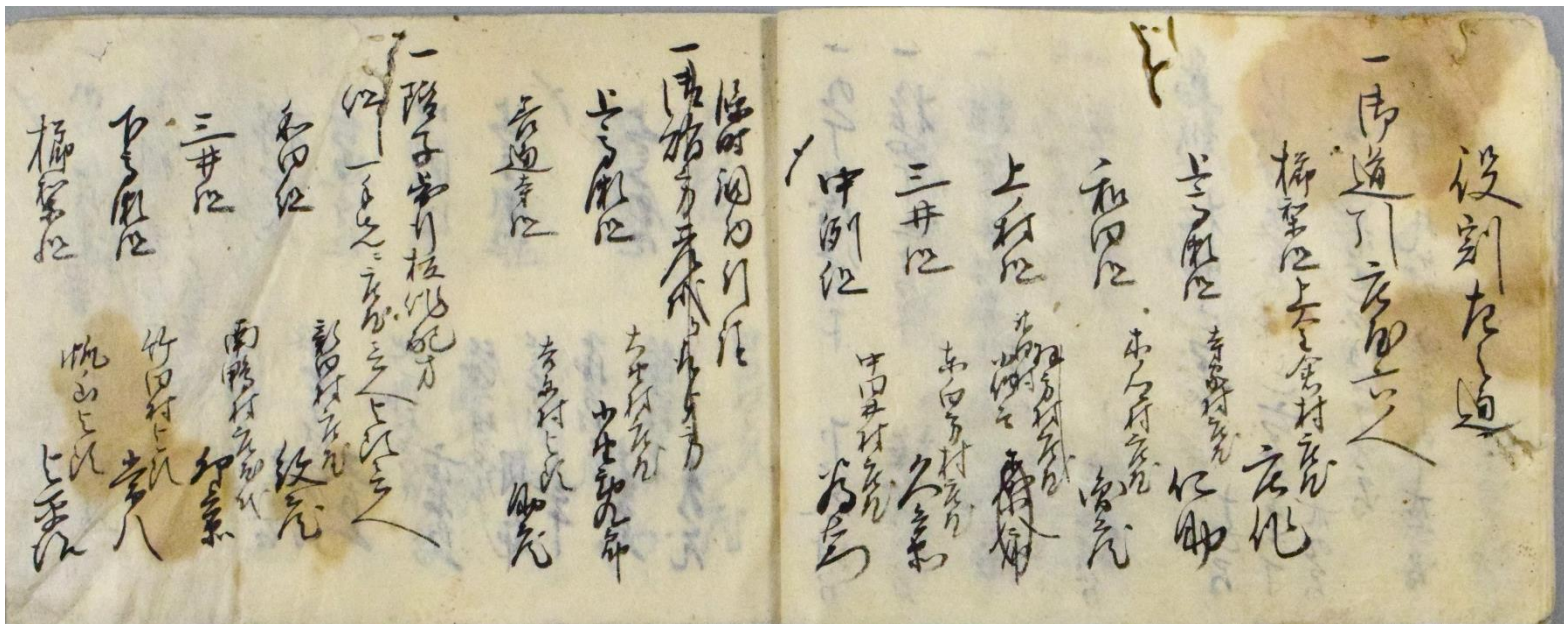


「伊能勘解由忠敬様三野豊田測量につき諸覚帳」

(三野郡中ノ村大矢家文書 9801)



【資料名】 伊能勘解由忠敬様三野豊田測量につき諸覚帳

【年代】 文化五年（一八〇八）

【解説】

十次にわたって日本全国を測量調査し、日本地図を作製した事で知られる伊能忠敬。その忠敬が讃岐に来たのは四国を中心に調査を行った第六次測量（文化五年一月二五日〜翌一月一日）のことであった。

資料は忠敬ら調査隊が讃岐に来た際の、三野豊田地域（現在の三豊市、観音寺市）での対応の記録。

資料画像上段には、道引（案内の事か）の庄屋が6人、階子、歩行板作配方を庄屋と組頭が勤めている。そのほか蠟燭や提灯、雨具に小屋の取建など様々な準備が割り当てられている。画像下段には駕籠や天文道具の運搬人足として六百人が計上されている。

幕府役人である伊能忠敬一行の測量調査が地域の人々への大きな負担となっていた様子がうかがえる資料である。